

令和7年4月9日

国立研究開発法人海洋研究開発機構賛助会 会員企業の皆様

国立研究開発法人海洋研究開発機構

経理部長 酒匂 義弘

(公印省略)

機構が所有する船舶等運用業務の調達について（周知）

拝啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

国立研究開発法人海洋研究開発機構（以下、「当機構」という）は、海洋に関する基盤的研究開発、海洋に関する学術研究に関する協力等の業務を総合的に行うことにより、海洋科学技術の水準の向上を図るとともに、学術研究の発展に資することを目的とする国立研究開発法人です。当機構は現在、6隻の船舶と各種探査機、観測調査機器を所有し、それらの運用業務（白鳳丸は運用支援業務）を外部の事業者へ委託することで、研究開発を実施しております。

このたび、令和7年度末をもって、現行の事業者との委託契約が終了し、令和8年度より次期の委託契約へと移行致します。次期契約の契約相手先を選定するにあたり、研究開発成果の最大化に留意しつつ、公正性、競争性及び透明性の確保という公共調達の理念に則り、より丁寧かつオープンな調達手続を実施致します。

つきましては国内において船舶の運航事業に関わる皆様に当機構が実施する船舶等運用業務の調達手続について下記のとおり周知させて頂くとともに、調達手続への参加をお願い申し上げます。

敬具

記

<機構が所有する船舶>

添付の参考資料をご覧ください。（令和8年度より5隻が対象となります）

<運航を委託する期間>

令和8年（2026年）4月1日～令和15年（2033年）3月31日（※）

※上記は現時点での予定であり、今後変更となる可能性があります。

<委託する業務の詳細及び調達手続の詳細について>

当機構のホームページにおいて掲載しておりますので、下記 URL からご確認下さい。

<https://www.jamstec.go.jp/j/about/procurement/ships/nyo.html>

<調達手続の概要>

令和7年4月7日～5月26日	意見招請及び参入意思確認受付期間
〃 9月上旬～10月下旬	入札公告（総合評価落札方式）期間（※）
〃 11月下旬	応札予定者からの提案書等提出
〃 12月下旬	開札・落札
令和8年 1月上旬～3月31日	準備期間及び現行事業者からの引継期間
令和8年4月1日～	船舶等運用業務の履行開始

※参入意思確認の結果、現行の事業者以外の者の参入可能性が無いと認められる場合には、入札ではなく随意契約事前確認公募となります。

<本件問い合わせ先>

〒237-0061 神奈川県横須賀市夏島町 2-15

国立研究開発法人海洋研究開発機構 経理部契約調整課

船舶等運用業務 調達担当 向後・平野

TEL : 046-867-9169 FAX : 046-867-9125

E-mail : keiyaku-emg@jamstec.go.jp

以上

(参考) 機構が所有する船舶一覧

船名	深海潜水調査船支援母船 「よこすか」	海底広域研究船 「かいめい」	学術研究船 「白鳳丸」	東北生態系調査研究船 「新青丸」	地球深部探査船 「ちきゅう」
					
運用主目的	潜水調査船支援母船	海底資源調査	外洋域での海洋調査、全国（大学）共同利用のための汎用調査船	東北地方の震災復興の研究推進、全国（大学）共同利用のための汎用調査船	国際海洋科学掘削計画（IODP <sup>3</sup> ）の枠組みの下での科学掘削の実施
特徴的な機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有人潜水調査船「しんかい6500」の運用</li> <li>・自律型無人探査機「うらしま8000」、自律型無人探査機「じんべい」の運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震探査システムの運用</li> <li>・海底設置型掘削装置、パワーグラブの運用</li> <li>・自動船位保持装置（DPS）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多種多様な観測機器と可搬式研究設備の運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多種多様な観測機器と可搬式研究設備の運用</li> <li>・ROV「ハイパードルフィン」、ROV「かいこう」の運用</li> <li>・自動船位保持装置（DPS）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライザー掘削能力（最大掘削水深2,500m）</li> <li>・ドリルストリング長10,000m</li> <li>・自動船位保持装置（DPS）</li> </ul>
竣工年	1990年	2016年	1989年	2013年	2005年
全長×幅	105.2m×16m	100.5m×20.5m	100m×16m	66m×13m	210m×38m
国際総トン数	4,439トン	5,747トン	4,073トン	1,635トン	56,752トン
満載喫水	4.7m	6.3m	6.3m	5.0m	9.2m
乗員(うち研究者等)	60名	65名	89名	43名	200名
	(15名)	(38名)	(35名)	(15名)	(100名)